



第26回総会の成功を力に新たな前進を!



10月4日、消費税をなくす全国の会は第26回総会を開き、全国から122名が参加、戦争法が強行採決されるなど緊迫した情勢を反映して、全国の草の根で奮闘する各会の豊かな活動が報告され交流が行われました。東京からも28人が参加、積極的に発言するなど成功へ貢献しました。

総会の最後に「10%増税は中止!」、「戦争させない」のプラカードを参加者全員が掲げて意思を表示、25年間不屈に闘ってきた誇りをもって、重大な情勢の意もと参加者が各地の地元に戻ってさらに運動をひろげることを誓い合いました。



要求スローガ

- ◇消費税10%はきっぱり中止し、8%は撤回せよ!
- ◇最悪の不公平な消費税は一日も早く撤廃せよ!
- ◇憲法違反の戦争法を廃止せよ!
- ◇暴走する安倍自公政権は直ちにやめよ!

消費税増税は軍拡財源

日米ガイドラインと消費税導入

「戦争への危険を拡大する軍拡財源づくり」が現実のものなるうとして、総会で報告されました。16年度予算は、軍事費が過去最高の5兆円を超えました。中期防衛計画は5年間で約25兆円の計画です。1975年米国がベトナム戦争の敗戦から独力でやれないと「同盟国」に役割分担を求めてきたのが日米防衛指針「ガイドライン」です。

日米共同防衛計画が作成され、米軍と自衛隊の共同防衛から費用がかさむと大平内閣の時、その費用として、一般消費税を打ち出したのが始まりです。日本では消費税が生まれた時から日米共同防衛のための費用とされてきました。そして今、集団的自衛権の行使容認と15年度の「ガイドライン」が表裏一体の問題として戦争準備に突っ走っています。米国が求める役割分担、軍事費増加へ2桁の増税を企む安倍自公政権、無法な戦争法成立から一月月余、ウルトラ

増税中止の確かな力、戦争法を葬る政府をつくらう!

右翼政権は危険な本性をさらけ出し、現職として初めて米原子力空母に乗り込み子どものようににはしゃぐ安倍首相、「国家のために子どもを産んで」と官房長官。時代錯誤の「1億総活躍」を叫ぶ空虚な新アベノミクス。

一方で「このねらいは許さない」の声が全国津々浦々に広がっています。10%増税阻止は暮らしを守ることに平和を守ること、そして私たち「消費税をなくす会」はそれぞれの草の根で不屈に粘り強く活動を発展させることはいま本

要求では多数派

暮らしを守るためにも

消費税8%は、仕入れ値の高騰や売り上げの減少、消費税を転嫁できず営業と暮らしの破壊が止まりません。労働者には実質の賃下げで購買力は上がりません。地域経済も疲弊しています。「社会保障と税の一体改革」で年金の削減、医療の改善、介護や生保の給付削減、保育の公的責任の投げ捨てなど暮らしへの全面攻撃です。

沖縄の辺野古基地建設反対、TPPの売国的合意、生涯派遣の労働法制、原発再稼働、震災復興な

ど国民の要求は全て多数派です。
10%増税阻止する力は
草の根の運動に

総会成功へ「東京の会」も積極的に発言しました。毎月24日の宣伝、マイナンバー、再建と新しい会

■大田の会事務局長 佐伯正隆さん

大田の会は17年4月の10%阻止へ毎月24日の宣伝にとり組んでいます。マイナンバー制度は様々なところで混乱が起き「政府の国民監視はやめる」の声が広がっています。戦争法廃止、増税中止と番号制度の廃止へがんばりましょう。

■杉並の会新世話人 谷正幸さん

永く中心になって引っ張っていただいた方が亡くなって活動が中断していたが、この情勢の中で「会」を再建し、「NO消費税」杉並版というニュースを発行して活動を再開した。毎月24日宣伝では「消費税は戦争の財源になるのか」や「マイナンバーは？」など

■大泉学園の会から関町の会が

が質問され、「マイナンバーと消費税」の学習会を計画、独自のチラシをつくって大規模に宣伝してゆきたい。

できました。菊池実生さん

月一回の世話人会議と宣伝・署名をねばり強く進め、消費税ニュースをつくり、新聞や「NO消費税」を読みあわせています。

■年金者組合 芝宮忠美さん

永く外国のホテルで働いてきていま月7万円の国民年金、妻が障害1級で生活保護以下の下流老人です。



総会を飾ったのはオープニングで披露された大田六郷の会の三線。六郷地域で商店街から路地裏まで三線と鐘や太鼓で元気に音をだしながら宣伝して署名を訴える行動を実演してもらいました。

開会を飾った大田六郷の会の三線

横田にオスプレイ来るな!

横田基地まつりに 行って来ました

9月19日は年に一度だけ基地を住民に開放する日でした。平和委員会が説明する自衛隊と米軍の共存する基地の中に入りました。入り口近くで横田基地撤去の運動を進める団体と交流の後、入り口で靴の中の点検を受けて中へ。

広大な会場に戦闘機や輸送機が30機ほど展示され、パラシュートの降下訓練も見せ、並べられた戦闘機の中にも入れます。注目のオスプレイの前には若い夫婦など子供連れでにぎわい、戦場の残酷さを忘れさせる微笑を披露して説明する米兵。危険はないと懸命に宣伝する姿はそうせざるを得ないような状況に追い込まれている姿でした。オスプレイ10機配置される計画は断固阻止!です。

11月21日(土) 午後一時半から

横田で大集会

多摩川緑地・福生南公園

(拜島 駅から20分)

「ストップ!戦争する国、オスプレイ来るな!大集会」が開かれます。



オスプレイに群がる人々

広がる声!

消費税を戦争税にするな!

キャラバン宣伝に かかってない反応

消費税をなくす会が事務局団体として参加する消費税廃止東京各界連絡会が緊迫した情勢にこたえて月一回

の定例宣伝から草の根から運動をひろげようと各地のターミナルを中心に3カ所のキャラバン宣伝をはじめて3回目。

9月28日は、各地のなくす会や地域各界連に結集する東京土建や民商、新婦人、民医連、共産党などとともに宣伝戦を展開しました。



JR三鷹駅前



JR吉祥寺駅前



練馬光が丘団地前

署名をしていると、「安倍さんは本当に怖い」「消費税が戦争する資金になるなんて許せない」「ご苦労さん、お互いがんばらねばネ」と言われ、激励されて署名し、様々対話になりました。

吉祥寺駅前では、多くの土建組合、民商、民医連、自治労連も参加、多くの行きかう人に訴えました。

練馬区の光が丘団地イマ前では、高層ビルに向けて訴えました。

東京土建、共産党、民商、なくす会、新婦人の弁士がかわるがわる訴えました。

この行動には延べ20団体49人が参加しました。消費税増税中止署名が82名、戦争法廃止署名49名が寄せられました。

「黙っていたら消費税10%になってしまう」との訴えに、「8%でも大変なのに10%なんてとても考えられない」「福祉のためなんてウソッパチだ、悪くなるばかり」「とにかく景気を良くしてくれ、アベノミクスなんて我々には恩恵がない」と不安と怒りが寄せられました。消費税を戦争税にするな!の声は広がるばかりです。

9月19日の未明に安全保障法案(戦争法案)が自公と野党3党の賛成で参議院本会議で可決成立しました。17日の安全保障特別委員会では、議事録にも「聴取不能」と明記されるほどの大混乱の中で、強行採決が行われました。国のありかたを180度変える法案を「数の力」で押し切っていくやり方、これを独裁政治とよばず、何とこのか。本当に腹の底から怒りがこみあげてくるのはこういうことかと改めて思ったのでした。

憲法9条と憲法25条 一体のもの

たたかいはこれから

消費税をなくす清瀬の会 事務局長 深沢まよ子

しかし、その根底が崩されると、さを感じます。国会前だけでなく全国津々浦々に様々な年代の様々な会が立ち上がり、世論と運動を大きく広げる原動力になりました。団体や労組か

統していることに民主主義の力強や戦乱の中ではできません。個人の権利よりも国のために何をすべきかが優先されるからです。戦争で真っ先に犠牲になるのは子どもであり、障がい者や高齢者、女性です。

私たちが今手にしている憲法は、過去の侵略戦争の反省の上に立ち、人権をないがしろにされた反

「海外で戦争する国づくり」と社会保障の削減、消費税増税は全て根っこがつかっています。

CHIHIRO CALENDAR

いわさきちひろカレンダー

世界中の子ども みんなに
平和としあわせを

このいわさきちひろのねがいをこめて、いわさきちひろカレンダーは、手から手へ、心から心へ、日本中にひろがっています。



いわさきちひろ作品普及会